

町民の声を行政に

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした令和7年度町政懇談会を7月22日から25日の4日間、全4会場で開催しました。

懇談会には、町民31名、町からは高橋町長、新谷副町長、豊田教育長、各課長職などが出席して、町政に対する質疑応答などを実施しましたので、その概要をお知らせします。



町長挨拶

町長 本日は夜分にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、町行政の推進に平素より格別のご理解とご協力を賜っておりまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

人口減少問題について

人口減少問題については、最重要課題と捉えておりますが、すぐに結果が出るものではないと認識しています。まずは社会減をなるべく抑制しながら、交流人口や関係人口を増加させる取組みを進めていきたいと考えています。

こういった中で、移住定住対策の充実をはじめ、地域おこし協力隊の積極的活用や医療、教育、子ども、高齢者に関連した効果的な施策事業を総合的に取り組んでいきます。

環境施策について

昨年12月の議会定例会において雄武町ゼロカーボンシティ宣言を行ったところであり、資源リサイクルや森林を活用したJ・クレジットなど、ゼロカーボンに関する施策を積極的に進めていきたいと考えています。

今年度については、住まいのゼロカーボン化推進事業補助金の創設、既存の雄武町快適住まいづくり促進補助金のメニューを追加しているところ。

町の懸案事項について

国や北海道に要望しております町の懸案事項ですが、西紋別5市町村で構成している開発期成会やオホーツク管内の市町村で構成している活性化期成会、そして町単独によって、



昨年に引き続き町政懇談会を開催させていただきましたりましたが、本会は町民の皆さまと近い距離でご意見を伺い、町行政の改善や来年度の予算編成に反映させることを主旨としております。

私も町長に就任してから間もなく2年を迎え、折り返しの時期となり

道庁、開発局、中央省庁、道内選出国会議員、道議会議員に要望活動を実施しているところであり、現在は国道238号線の防雪柵の設置や道道の道路整備事業、国営緊急農地再編整備事業、元稲府・雄武・沢木漁港施設などの水産基盤整備事業の促進について要望してきているところです。

自治体のDX政策について

住民サービスや手続きの簡素化、郵便局の窓口を活用した申請受付や証明書の交付について検討を進めています。

昨年から、町の公式LINEを開設して一斉情報提供が可能となったところであり、これにより行政情報の発信を進めてまいりたいと考えています。

防災関係について

雄武消防団第三分団詰所については、建設から48年が経過し老朽化が著しかったため、移転改築を行ったところ。

雄武漁港関係について

漁船の大型化や水深の不足があったため、順次航路や岸壁の増深、防波堤の整備が進められることになっており、今年度採択を受け、令和16年度までの10か年計画として整備が進められます。総事業費は49億円となっています。

ます。引き続き、より良いまちづくりのため全力で努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

限られた時間ではありますが、有意義な懇談会となりますことを願いまして、挨拶とさせていただきます。

町政懇談会行政報告 説明事項（要旨）

令和7年度予算について

一般会計72億5千7百万円、特別会計5会計と企業会計3会計とを合わせた総額は109億8263万5千円となっています。一般会計につきましては、老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化対策、そして社会保障関係経費など義務的な経費が増加傾向にあるものの、今後の人口構造や社会情勢の変化などを見据えて必要とされる施策を確実に実行していくため、限りある財源を効果的・効率的に配分をしたところです。

大きな事業としては、中小企業等振興事業は継続事業であり、公営住宅の整備事業として末広町一区団地1棟4戸、臨港線他道路灯の改修工事、新沢木の海岸線落石対策工事、幌内の町有住宅屋内給水管等改修工事などを計上しているところです。

7月23日(水)、24日(木)とかなり気温が上がり、熱中症など、健康に被害が生じるようなおそれがあり、23日(水)午前中に課長職を集めて対策を講じることで協議をしました。

副町長報告事項

その結果、市街地区、沢木地区、幌内地区、魚田地区の施設にスポーツクーラーを設置し、必要に応じて利用していただきました。

23日(水)は準備の関係もあり、11時40分から17時まで開設し、24日(木)は、9時から17時まで開設したところ。

地域包括支援センターでは、独居世帯と高齢夫婦世帯に訪問や電話で注意喚起を行いました。

周知については、防災無線と広報車両で町内全域に行っています。

利用者は、23日(水)で市街地区4名、沢木0名、幌内0名、魚田0名、24日(木)で市街地区20名、沢木1名、幌内0名、魚田1名という状況でした。

急な対応でしたが、反省点などを課長職の中で協議し、今後に向けた改善を進めていきたいと思います。

意見交換、質疑応答等

7月22日(火)（幌内地区）

☞ コミュニティバスについて、自宅の前から乗れるようにしてほしいという意見もあります。

地域医療関係について

本年4月から国保病院において大野医師が副院長に着任され、常勤医師の2名体制が確保されました。

大野医師につきましては、元々専門は外科ですが、秀毛院長と同じく総合診療医であり、透析治療も対応可能です。

昨年は、常勤医師が1名ということで、一部診療時間を短縮するなど、町民の皆さまには大変ご不便をおかけしておりましたが、現在は通常の診療体制となりましたので、今後におきましても国保病院が町民の命や健康を守る砦として、その役割を果たしていくよう努めていきます。

雄武町地域公共交通計画について

本年3月に策定した「雄武町地域公共交通計画」に基づき、新たな取り組みとして、コミュニティバスの運行や町内路線バスの運賃の無料化を行うとともに、地域公共交通の担い手対策として免許取得費の助成を行っています。

コミュニティバスについては、2月からの試験運行を経て4月から運行を開始し、多くの町民が利用されているところ。

町内路線バスの運賃無料化についても、乗車人数が増加傾向にあり、一定の成果を上げているところですが、今後も町民の生活に必要な交通手段の確保と持続可能な地域公共交通の維持に努めていきます。

圏公共交通対策室長

バスの通り道で手を挙げれば、そこから乗車できる仕組みになっており、そういうことをPRしながら走行路線の拡張を検討していきたいと考えています。

☞ 地域の方のためのトイレと小さい子どもたちが遊べる公園がほしいです。

圏子ども未来室長

こども未来室では、今年に入ってから小学生から高校生まで、そして保育所を含む保護者などに対してアンケートを実施しています。雄武町にとってどのような子育て支援ができるかをまとめて「こども計画」を策定します。

☞ 幌内小学校外のトイレは町で管理していると思いますが、これは国道を走っている旅行者のために設置しているトイレなので、町ではなく道路管理者に管理してほしいです。

圏建設水道課長

町の施設の管理を開発局や他の機関にお願いすることは難しいと考えています。経費についても、こまめに圧迫したものではないため、このままの体制を続けていこうと考えています。

☞ 国道の草刈り関係で、紋別方面から草刈りを始めると、幌内に来る頃には草が伸び放題になっています